

母の日に想う!

2019. 5. 15

美幌町図書館長 竹花 史康

5月といえばやはり今年は10連休のゴールデンウィーク、子どもの日と鯉のぼり、運動会、そして母の日を連想しますが、特に気になったのは“母の日”です。

母の日は、「母の苦勞を勞り、母への感謝を表す日」であり、カーネーションをプレゼントするのが一般的でしたが、近年はプレゼントも多様化しているようです。ちなみに私の妻は、息子夫婦から“ごはん茶わんと湯飲み茶わんのセット”を贈られとてもご機嫌でした。



私は自分の母親について想うとき、いつも石川啄木の代表作の歌を思い起こします。ふざけて母を背負ってはみたが、そのあまりの軽さに驚き悲しくなった啄木の気持ち、今となってはとても身にしみてわかるのです。

たわむれに母を背負ひて

そのあまり軽きに泣きて 三步あゆまず

《石川啄木》

もう一首、母を題材としたお気に入りの歌は俵万智のものです。離れて暮らしているからこそ、宅急便に書かれた母親の直筆に優しさを感じるのは、誰も同じではないでしょうか。

母の字で書かれた我の名を載せて

届いておりぬ宅急便は

《俵万智》